

環境に係る情報協議会

国営施設応急対策事業 長沼地区

1. 事業の概要

■事業の目的

長沼幹線用水路は、一部に用水路の浮上が発生し、また長沼幹線用水路に接続する北揚水機は、流量制御装置の故障やポンプの緊急停止などが発生しており、施設の機能がさらに低下し、周辺地域に影響を及ぼすおそれがあることから、早急な対応が必要である。

このため、本事業により長沼幹線用水路（L=2.3km）及び北揚水機について、施設の機能保全に資する補修・補強等を実施し、農業生産の維持および農業経営の安定に資するものである。

■受益面積 4,363ha

■主要工事計画（案）
揚水機 1箇所
用水路 2.3km

2. 環境に対する考え方（由仁町田園環境整備マスタープラン、長沼町農村環境計画より引用）

□田園環境の現況と課題

【現況】

『由仁町』 中央部の由仁安平低地には二次的自然としての水田などが広がり、自然の宝庫の馬追丘陵など自然やそれらが織りなす景観に恵まれた地域である。

『長沼町』 地形特性に即した様々な形態の農業が営まれ、多様な生き物が生息する豊かな二次的自然が形成されている。そして、これらの農業生産活動が、豊かな自然や風土を背景として、うるおいと安らぎの感じられる景観を育んでいる。

【課題】

『由仁町』 森林地域には虫も生息している。しかし、親水性に乏しいことから、水に親しむ機会の整備が課題である。

『長沼町』 農業従事者の高齢化と後継者不足などにより農地の保全が課題となっている。また、環境との調和に配慮した農業や施設整備を進めるとともに、豊かな自然環境とうるおいある景観を守り育て、次世代へと引き継いでいくことが重要である。

□環境保全の基本的考え方

『由仁町』

- ◎自然生態系の保全、ハーブ事業と連携した緑化、植栽、集落計画作りなどを町民参加の下で推進する。
- ◎農業系廃棄物、農業以外の産業廃棄物について、全町的な処理体系の確立を図る。
- ◎由仁町の特徴を生かした農村環境の総合的な整備を進め、自然と調和した潤いある農村環境の総合的な整備を進め、自然と調和した潤いある農村景観づくりと、都市との多様な交流を図るとともに豊かさや安らぎを実感できる夢と元気あふれる農村作りを目指す。

『長沼町』

- ◎水辺と緑は、生物が生息する拠点であり、生物の産卵・ふ化・成長・越冬に応じた移動経路としても重要なものです。残された緑の保全・回復に努めるとともに、生物の生息の拠点となる、ため池・河川・水路などのネットワーク化を図るなど、水と緑のネットワークの保全と創出に努めていきます。
- ◎本町では、自然豊かな馬追丘陵と、平地部の防風林や河川・水路などを中心に、多様な動植物が生息・生育しています。その中でも、平地の防風林で繁殖巣が確認されているオオタカ、比較的水深の浅い河川・水路などにおけるエゾホトケドジョウなど、貴重種の存在も確認されています。各種事業の実施に当たっては、これらの生息地の保全に配慮していきます。

3. 環境配慮計画

□基本方針

本事業では、由仁町田園環境整備マスタープラン及び長沼町農村環境計画との整合を図り、地域の自然環境・田園景観として重要な河川や排水路及び耕地防風林における生物の生息環境保全への取り組みに配慮した整備を進める。

□取り組み内容

生態系への配慮

- ◎鳥類等の繁殖活動時期を避けた用水路の施工時期を設定する。
- ◎用水路改修における下流河川の魚類生息環境に配慮し、濁水流出防止に努める。